



一  
問  
一  
答  
方  
式  
に  
よ  
る  
一  
般  
質  
問

## 小・中学校における新型コロナウイルス対策

佐藤 剛太



**問** オンライン教育のために、小・中学生が必要とされる通信容量はどれくらい必要になるのか。

**学校教育課長** 小・中学生は、1回15分のオンライン動画を1日3回と仮定して、1ヶ月で5GBが必要になると考えます。

**問** 小・中学生の自宅の通信容量制限が5GB未満の世帯の件数とパーセントを伺う。

**教育次長** 小・中学生の世帯の全体の約8%になります。

**問** モバイルルーターの公的貸出希望者の割合を伺う。

**教育次長** 6月8日時点での集計結果では、貸し出し希望は全体の28%、通信料によっては利用したい方は、27%となりました。

**問** 今後の子どもたちの教育には、オンライン教育が必要であり、自宅でのインターネット環境整備が必要であることを小・中学校生の家庭に説明して理解していただき、まだ導入されていない世帯にインターネット環境整備の普及の推進を行うことが必要なのではないか。

**学校教育課長** 今後、教育について

てインターネットの必要性や導入のために普及を啓発します。

**希望者には公的貸出を！**

**問** 今後、オンライン教育を進めにあたり、希望者には端末やモバイルルーターの公的貸し出しを行なべきだと思うが見解を伺う。

**教育次長** 補助事業を積極的に活用して進めたいと思っています。

**問** 名取市では、図書館や増田公民館などで「みやぎFree Wi-Fi」を導入して、公的施設に無線Wi-Fiエリアの拡大を行っている。岩沼市でも交流プラザにはWi-Fi環境が整備されているが、その他の学校周辺の公的施設や集会場に「みやぎFree Wi-Fi」などを活用してイン

テーの感染症に不安を持つて過ごしている妊婦さんが経済的精神的に少しでも安心して出産できるよう、感染予防に必要な物品の購入等に活用できる特別給付金を支給してはどうか伺う。

**健康福祉部長** 母子手帳交付時、さらに個別相談を通して発熱時の対応や感染予防の啓発等、不安に寄り添った支援を今後も行っていくことから、現時点での給付金の支給は考えていません。

**問** 千葉県東金市や神奈川県相模原市など、支援を行っている先進自治体を参考に検討してはどうか。

明している市町村もあるので、研

究してみたいと考えます。



## 新型コロナウイルス 感染症対策

高梨 明美



**問** 妊産婦に対しての支援の現況について伺う。

**健康増進課長** 妊婦一人に対しまスク1箱配付、国から届いた布マスクについても一人2枚郵送しています。また、感染防止に配慮した個別相談、市のホームページや子育てアプリを活用して情報を配信し、妊娠婦の不安の軽減に努めています。

**問** 現在、さまざまなイベントが中止となっている。母親学級、父親学級も例外ではなく、中止を不安に感じている妊娠婦さんも多い。そこで、保健師や助産師によるオンラインでの保健指導をしてはどうか伺う。

**健康福祉部長** 国の第2次補正予算にも盛り込まれていますので妊娠婦及び育児に関する相談に対してもオンライン相談を実施する方向で検討しています。

**問** 地元のスズキ記念病院でも母親学級、父親学級だけでなく、立ち合い出産やイベントなど、ほとんどが中止となっている。妊娠が安心して出産に臨めるよう、病院とも連携を図りながら、オンラインの実施を進めてはどうか伺う。

**健康福祉部長** この実施に当たっては、スズキ記念病院とも調整していくかと思います。

**・マイナンバーカード普及の取組**